

松永らしさ満載！ 出演者も感動！

松永で再演 創作合唱オペラ「ハブテトル ハブテラン」

8月27日（土）、28日（日）、西部市民センターにおいて、福山市市制施行100周年 松永合併50周年記念事業「ふるさとまつなが 備後弁創作合唱オペラ ハブテトルハブテラン」が開催されました。（主催：まつながカープチェー実行委員会）

このオペラは、一昨年リーデンローズ開館20周年事業として上演されたものですが、原作小説の舞台が「松永」ということで、西部市民センターでの上演を求める地域のみなさまの声に後押しされて再演することになりました。

セリフの中に、「何はぶてよーるん？」「うるしゃーのう」「ようわからん」「うちは、あきらめんけえねえ」など、コミカルな備後弁が満載。来場者が声に出して笑う姿に、出演者のみなさんも「松永のお客さんは反応がええなあ」と大満足。カーテンコールの後には、出演者と来場者が一緒になって「シャンソン ハブテトル ハブテラン」を合唱。大きな拍手に包まれながらの終演となりました。

松永での再演にあたり、今年の1月に新生合唱団を結成。半年以上に渡って練習を積み重ねてきました。メンバーには、松永地域のコーラスグループに所属している人、かつてのコーラス経験者、そして今回初めて興味を持って応募した人も。リーデンローズの大ホールとは規模も違いましたが、多くの人の手によって支えられ、随所に松永らしさを感じられる楽しい舞台となりました。

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

